

# 首里城扁額製作検討委員会

## 第 3 回 検討委員会

2022年3月8日（火） 14:00-17:00

**【資料 6】 扁額の展示活用**  
6-1. 扁額の展示活用（案）

## 6-1. 扁額の展示活用（案）

資料6

### （1）展示活用の趣旨

見せる復興の一環として、首里城扁額製作事業の取組みと進捗を周知するため、事業による製作物を積極的に展示活用する。

### （2）展示活用の実施概要

扁額製作事業における製作物の展示活用の実施概要を以下に示す。

#### 【展示活用する製作物】

- ・ 扁額（本作）：首里城復元事業および扁額製作事業の進捗を周知するとともに、完成した扁額の文字、落款、木工、彫刻、髹漆、加飾の技術性・芸術性を間近で鑑賞できる貴重な機会を提供し、臨場感・迫力ある展示を行う。
- ・ 扁額（試作）：首里城復元事業および扁額製作事業の進捗を周知するとともに、製作作業の公開と試作品の展示により、扁額の製作仕様（材料、構造、仕上げ）や工程が理解できる展示を行う。
- ・ 原書等（コピー）：首里城復元事業および扁額製作事業の進捗を周知するとともに、原寸大の迫力が味わえ、中国皇帝御書に想いを馳せる展示を行う（合わせて扁額原寸グラフィックイメージの展示も検討）。

# 6-1. 扁額の展示活用（案）

## (3) 展示活用の実施方針（案）

### ①展示スケジュール（案）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度～
原書等		展示活用（原書コピー+扁額原寸グラフィック）				
扁額試作	試作①木工彫刻	試作②髹漆加飾	製作見本活用	展示活用		
扁額本作	本作①木材調達	本作②木工彫刻	本作③髹漆加飾	展示活用	正殿への設置	

### ②展示場所の候補（案）

	【共同作業場】 扁額製作のために確保する施設で、彫刻から髹漆、加飾までを行う。	【沖縄県立博物館・美術館】 沖縄県内の博物館で最も展示に係る設備・機能が充実している。	【その他】 県内外の利用者が多い施設。公共施設（県庁）や交通施設（バスターミナル、空港）、離島含む。
原書等	・共同作業場（令和5年度より運用予定）での展示が有効と考えられる。	—	・観賞の利用人数は最も多い。 ・保存場所がないため展示利用のみとなる。
扁額試作	・製作中は見本として活用。さらに製作作業と見本を合わせた効果的な展示も可能と考えられる。		・展示にあたってセキュリティ対応が必要となる。
扁額本作	・完成した扁額の展示と保存ともに可能。ただし、扁額の展示と保存にあたって十分なセキュリティ対応が必要となる。	・温湿度管理された環境のなかで扁額の展示と保存ともに可能なため運搬・移動のリスクも少なく済む。 ・展示の期間は限定される（企画展として1～3か月程度）。 ・正殿へ設置するまでの間、扁額を最も安全に保存できる施設である。	—

## 6-1. 扁額の展示活用（案）

資料6

### （4）今回製作した原書等

#### ①「中山世土」題字・皇帝銘・落款印・年月銘



#### ②原書等（コピー）の展示方法

- ・原書（コピー）：耐久性のある印刷シートを作成し、会場の壁等に貼り出す。
- ・扁額原寸グラフィックイメージ：耐久性のある印刷シートを作成し、会場の壁等に貼り出す。
- ・解説板：自立型展示パネルまたは壁掛け型ポスターパネルにて、首里城扁額の内容、中国と琉球との関係、中国歴代皇帝と御書、琉球その他の扁額事例などの解説板を作成し、設置する（扁額試作、扁額本作の際にも使用できる内容が望ましい）。